

堂島川可動堰工事目下の狀況

工事目下の狀況は南側橋臺一クミ橋脚二ヶの基礎混凝土工事を終つた處である。閘門部分は目下基礎杭打中である。

工事用の設備としては締切内の掘鑿土砂積込捲揚用のインクラインミ、エンドレスチエーンが各15馬力宛の電動機で働いてをる。

杭打機は大阪特有の、簡単なニホンコミ稱する二股に虎繩を張りモンキョーガイドの簡單なものを立てたもの四臺を使用してをる、ミキサーはランザム式安治川鐵工所製で10切練のもの二臺を使用してをる、目下高90尺のコンクリートエレベーター用のタワーを二ヶ所に設置する準備中である。

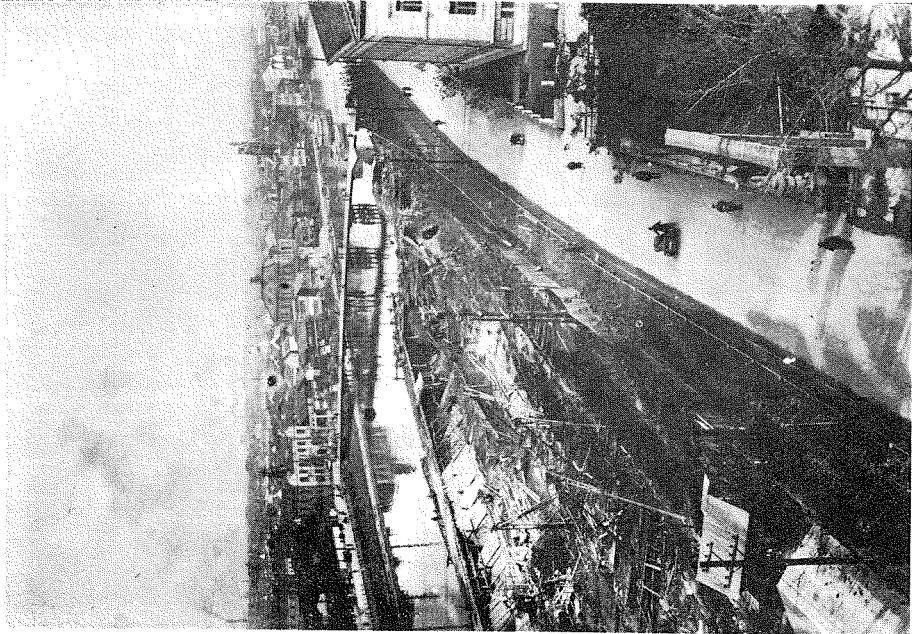
此の外に現在締切内の水換に6吋セントリヒューガルポンプ二臺を使用し、別に一臺の豫備がある。

材料は總て船で運び締切上にある木製デリーリツク一臺が15馬力のホイストで諸材料を船から締切内に移動してをる。

現場の工事主任は市役所の野上技手と錢高組の水田氏である。

現在見た處は頗る平凡な工事で視察榮えのするのは來春であらうが、然し川の工事としては今の基礎工事が大切な處である。(大正十五年十一月記)

(4) 大正十五年十一月二十四日締切内の工事狀況である。大阪市役所樓上より見下したる景。



(4) View of the Dam and the Work inside the Banking at present Nov. 24, 1926 seen from Top of Osaka City Hall.